

みんなで
地域の道路を
考える



H25 年
3 月

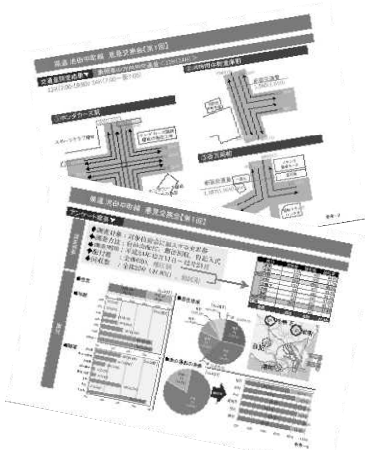
第1号

意見交換会 かわら版

「県道池田中町線」 検討の背景

島根県では昭和34年に「県道池田中町線」を都市の健全な発達と秩序ある整備を図るため、拡幅を行う都市計画道路のひとつとして位置づけました。しかし、社会情勢や環境の変化から、現在でも未整備になっています。

そこで、より良い道路とするために、地域の皆様のご意見をお伺いしながら、今後のあり方を検討することになりました。



交通量・アンケート調査

話し合いに先立ち、交通量調査や地区内外の方にも行ったアンケート調査を行い、その結果も参考にしながら話し合いを進めています。

「今後のあり方を考える」

第1回 「意見交換会」 開催

2月21日に、中町・東町にお住まいの方や、お店を出していらつしやる方など28名にお集まりいただき、今の道について「自慢できること」「困っていること」や、「将来どんな『みち』にしたいか」というテーマで意見交換を行いました

話し合いは4つのグループに分かれて行い、各自の思いや意見を発表し合う中で、共感する思い、異なる意見、新しい発見をしながら活発に意見交換しました。



ワークショップの様子

意見交換の中で出た意見について、いくつかご紹介します。

○自慢できること

・みんな仲良し

・歩いて全ての用事ができる

・宇屋川と昔ながらの家並み景観はすばらしい など

○困っていること

・狭い（歩行空間がなく危ない・車は通りにくい）

・ミラーがないところがあり、飛び出しなどの危険と隣合わせ

・車がスピードを出して危ない

・道路端に段差や溝ぶたの穴など

・歩行者にとって危険がいっぱい

・まちの賑わいがいい など

○どんな道にしたいか

・まずはこの地域をどのようなま

ちにしたいかが大切

・拡幅による移転でまちが衰退すること

・歩いて用事が足り、仲良しな地区で高齢者が住みやすい歩行者優先の道

・若者も住みやすい広く安全な道

・所々に待避所のある道 など